

頻出語句一覧表

	漢字	読み方	意味
1	相済	あいすみ	決着
2	預所	あずかりどころ	領主に代わって荘地・年貢などを管理する職
3	跡式	あとしき	相続の財産
4	剩	あまつさえ	そればかりか
5	雖	いえども	～でも
6	聊	いささか	少し・いくらか
7	愈・弥	いよいよ	いよいよ
8	違乱	いらん	道理を正す・非難する
9	入会	いりあい	村々の共有地・秣場 <small>まぐさ</small>
10	所謂	いわゆる	いわゆる
11	浮役	うきやく	土地の生産物以外に課した雑税 = 運上金・冥加金
12	請書	うけしょ	承諾書
13	胡乱	うろん	怪しい・乱雑
14	上乘	うわのり	船に積み荷と共に乗り、一切を荷主から任された人
15	永	えい	お金の異名
16	起返	おきかえり・おこしかえし	荒廃した田地を再耕作化すること
17	納合	おさめあわせ	納入合計
18	越訴	おっそ	所定の手続きを経ず領主や幕府に訴出る事 (違法行為として厳禁された)
19	皆済	かいさい	年貢の完納
20	廻状	かいじょう	役所から村々へ回される通達書
21	欠落	かけおち	居村を去って他所に逃げ出すこと = 出奔 奉公先から逃げ出すこと
22	忝	かたじけなし	ありがたい
23	急度	きつと	必ず
24	向後	こうご・きょうこう	これから先
25	公事	くじ	訴訟
26	曲事	くせごと	違法の処罰・罪科
27	件	くだん	前述
28	口米	くちまい	不加税・米納と金納があった
29	口入	くにゅう	口添え・仲介
30	蔵前入用	くらまえにゅうよう	江戸浅草蔵前にある幕府米蔵の経費にあてる名目で課せられた租税
31	委敷	くわしく	詳しく
32	家抱	けほう	本百姓に従属し、自立していない農民 = 水呑・小作人・分付など
33	検見取	けみとり	稲の出来を見てその年の年貢を決めたこと ⇔ 定免法
34	石盛	こくもり	検地によって決められた田畑の反当りの収穫量
35	御法度	ごはつと	禁止事項
36	御用米	ごようまい	幕府直轄地の蔵に非常と凶年などに備えるため貯蔵させた米穀 = 城米
37	流石・遠	さすが	さすが

38	聡与	しかと	きちんと
39	然処	しかるところ	ところで
40	而今	じこん	今後
41	実生	じっしょう	確かなこと
42	実体	じってい	正直なこと
43	自普請	じぶしん	自分（農民）の費用でまかなう工事
44	定免法	じょうめんほう	平均収穫量を基準にして租税を決める法 ⇨ 検見取
45	助郷	すけごう	宿場に常備する人馬が不足の際近郷の村々に人馬を負担させる制度
46	都而	すべて	全て
47	穿鑿	せんさく	詮索・探すこと
48	抑	そもそも	そもそも
49	高掛物	たかがかりもの	村高に応じて徴収する特別税 幕領では三役と呼ばれ① 伝馬宿入用② 六尺給米 ③ 蔵前入用の三つ 私領では夫米・夫金・夫役・糠藁代などと呼ぶ
50	高辻	たかつじ	石高の合計
51	鷹場	たかば	将軍が鷹を放って狩りをする場所 = 御留場・御狩場
52	慥	たしかに	たしかに
53	縦・仮令	たとい・たとえ	もし・仮に
54	店	たな	貸（借）家
55	旦那寺・檀那寺	だんなでら	帰依してる寺
56	知行所	ちぎょうしょ	支配地
57	逐電	ちくでん	逃げて姿を隠すこと
58	帳外	ちょうがい	悪事をなし或いは長期の逃亡などにより、親類・村役人が願出て人別帳からその人の記載を外すこと
59	逃散	ちょうさん	農民が耕作を放棄して外に移ること
60	鳥渡・鳥与・鳥兎	ちよっと	少し
61	審	つまびらか	詳細
62	為体	ていたらく	ありさま
63	出入	でいり	争いごと・民事訴訟
64	留村	とまりむら	廻状などが最後に回ってくる村
65	手代	てだい	代官所奉行の配下にあつて、事務に従った小役人（民間人）
66	手付・手附	てづき	仕事は手代に同じだが、手付は勘定奉行所管轄の下役人
67	伝馬	てんま	街道の宿駅にて公用に供する馬
68	伝馬宿入用	てんましゅくにゅうよう	宿駅の宿役人や問屋本陣への給米、その他宿駅の経費を賄う目的で課せられた税（高掛三役の一つ）
69	取箇	とりか	田畑に課せられた年貢
70	取締出役	とりしまりしゅつやく	浪人・悪党を取締る為置かれた幕府の役職
71	内済	ないさい	内々で処理する・借金の一部を返済する
72	等閑	なおざり	おろそか・いい加減
73	就中	なかんずく	とりわけ
74	夏成	なつなり	陰暦六月に上納する畑年貢
75	名寄帳	なよせちょう	課税の為の土地の台帳
76	人足	にんそく	貨物の運搬、積み下ろしなどに使役される労働者・人夫 宿場間で荷物を運ぶ人

77	人別帳	にんべつちょう	江戸時代の戸籍簿 (宗門の外一家内の居住者、召使までの性別・年齢・係累・職業などから飼養牛馬まで詳細に記入された)
78	乗懸	のりかけ	交通用の馬の種類 (旅人一人と荷物を乗せる。軽尻よりも耐荷量が多い。)
79	只管	ひたすら	いちずに
80	一入	ひとしお	いっそう・いちだん
81	夫食	ふじき	生活に必要な食糧 凶年・非常時に飢民を助けるための食糧
82	普請	ふしん	土木建設工事 寄付により寺・堂を造営(修理)すること
83	風与・不図	ふと	たちまち・不意に
84	不届	ふとどき	法に背くこと・不埒
85	夫役	ぶやく	公用の為、民を使役すること
86	本途物成	ほんどものなり	本年貢
87	本百姓	ほんびやくしょう	検地帳に名前が載っている百姓 = 高持百姓
88	本馬	ほんま	交通用の馬の種類 (乗懸・軽尻より耐荷量が多い)
89	前廉	まえかど	以前
90	間敷・間鋪	まじく	～するべきではない、～してはいけないという意味の助動詞
91	砌	みぎり	～するとき
92	三行半	みくだりはん	離縁状 (離縁の確認及び妻の再婚さしつかえ無き旨を三行半に簡略化した書状のため、この称となった)
93	水帳	みずちょう	検地帳・検地水帳ともいう
94	冥加金	みょうがきん	年貢以外の租税の一種 上納金の性質ももつ = 運上金
95	村鑑	むらかがみ	村況の大略をわかるように記した代官所の帳簿
96	免状	めんじょう	年貢割付状
97	物成	ものなり	年貢
98	埒明	らちあけ	解決する
99	六尺給米	ろくしゃくきゅうまい	幕府直轄地に課せられる付加税の一種 (江戸城台所の「六尺」と呼ばれる人夫の給米の経費に充てたことから)
100	態々	わざわざ	ことさら
101	割付	わりつけ	上納年貢の目録